

平成 19 年度 第 3 回理事会ニュース

期日：2007 年 3 月 12 日（月）14:00～16:00

報告事項

(1) 第 2 回 MR 専門技術者認定試験開催報告

第 2 回認定試験受験申請者：171 名

受験資格者：147 名（書類審査不合格者：24 名）

受験者：143 名（当日欠席：4 名）

(2) 認定試験結果

平均点：32.17 点／40 問（昨年：40.9 点），146.86 点／200 問（昨年：156.5 点）

議事

(1) 第 2 回認定者の合格基準について

試験作成の主旨に基づいて、5 問を 1 つとした採点を基準として考える。

・来年度に備えて

答えが 1 つの問題は、配点を 5 点にする。

正解率が低い問題を不適切問題として削除する。

MR 専門技術者の設立意図を貫く意味でも、レベルは下げない。

答えが一つの場合は、それとわかるように出題方法をより明確にする。

(2) MR 専門技術者の認定

(1) の基準にしたがって、37 名を第 2 回 MR 専門技術者認定試験合格者として
磁気共鳴専門技術者として認定した。

受験申請者に対する割合 $37 / 171 = 21.6\%$

認定試験受験者に対する割合 $37 / 143 = 25.9\%$

合格者は、受験番号を HP に公開する。（3 月 15 日～30 日限定）

(3) 認定手続きのスケジュール

3 月 12 日 理事会：MR 専門技術者の認定

15 日 認定試験合格証と不合格証の発送（封書）

4 月 20 日 MR 専門技術者の認定申請手続きの締め切り

合格通知の写し，受験票の写し，申請書，

認定料振込証の写し の 4 点を同封して事務局宛てに申請

5 月 10 日 MR 専門技術者認定証の発行（事務局で作成）

更新のための個人表と規約集を同封する

不合格者の取扱い：前 2 回の受験者に対して性能評価試験の書類審査を免除する。

今後、一度性能評価試験を通過された方は永年免除の可能性を検討する。

性能評価試験の内容もしくはそれに代わる書類審査を検討する。

（次回の試験に関しては、前 2 回の受験票を受験申請時に同封していただく）

書類審査について：受験者のレベルを維持するためもの継続する。

(4) 更新制度について

学術大会への参加状況：出席のみより発表される方が多い

認定研究会の申請状況：5件あった

今回の5件の申請について：条件付き1件と2件を1つにして対応する。

認定研究会の規模：最低20人（常識の範囲）をめどにする。

更新のための安全管理講習会のあり方を検討する。

平成19年度の磁気共鳴医学会の安全セミナーをそれに充当する。

更新のための参加者には、出席証明書の発行を行う。

3月第1週の金曜日に東京で開催：テキスト代：2000円

認定試験の午前中に開催している安全管理講習会もその対象として検討する。

(5) 平成19年度のスケジュール

平成19年6月 第1回理事会 平成18年度出納の承認

第3回試験のスケジュールの決定

試験内容の検討：試験の出題方法とレベル

試験作成検討委員の選出：関東地区の専門技術者から選

出

平成19年9月 認定試験作成委員会の結成

平成19年10月 各団体の会誌ならびにHPで試験案内の広報

平成19年12月 申請受付と書類審査

平成20年1月 第2回理事会 認定試験受験者の認定

試験準備ならびにスケジュールの確認

平成20年3月9日 第3回MR専門技術者認定試験（鶴見大学）

平成20年3月中旬 第3回理事会 認定試験合格者の認定

(6) その他

1. 今後の機構の方針について

現在の機構の方向性をもっとHPなどでアピールする必要がある。

資格を作った以上、目的とする主旨を明確にする。

2. 認定試験対策

参考文献をHPで紹介する。

以上